



えんだより



61.7kg 集まりました

7月の園だよりでお知らせして以来、ご協力いただいておりますペットボトルキャップが10月10日まで61.7kg集まりました。これで寄付金額が1,234円となりました。20円あたりで1本のワクチンが世界の恵まれない子どもたちに接種してあげられるので、60本以上のワクチンが寄付できることになります。また、今回は特別に買い物籠もいただきました。園で有効に使っていただけたらと思います。この活動はこれからも続けていきますが、ここまでのご協力誠にありがとうございました。



肌寒くなってきます

肌寒くなり体調を崩しやすい時期になってきます。健康管理にはくれぐれもご注意くださるとともに、その子の成長に合わせて自分でできる健康習慣を考えていただけるといいと思います。たとえば…

- ・鼻水が出たら自分で拭く
- ・寒いと感じたら上着を着るなどして自分で衣服を調節する
- ・進んで戸外に出て遊ぶなど



読書の秋

お子さんに絵本を読んであげていますか?「小さいからまだ必要ない」と思っていませんか。小さい頃からお話の世界に浸っている子は心が育つと言われています。絵本は絵からお話を読み取り、読み聞かせは親子のコミュニケーション不足を解消させます。読む声は子どもに安心感を与え、肌のぬくもりや匂いを感じることにより親子の親密さが高まり、信頼関係が強まります。ぜひ、ゆっくり時間を作ってみてください。



目に見えるモノ見えないモノ

朝、赤ちゃんを抱いたお母さんに、どうしても抱っこしてほしいと泣く大きいクラスの姉。これから仕事に行かなければいけないときにこんな状態になられると、うんざりでしょう。場合によっては、「お姉ちゃんなんだからそんなわがまま言わないで!」と“しつけ”たくなることも。

「躰」とは、衣類を縫い付ける「仕付け糸」のように、抜いても衣類の形が崩れない。つまり子どもが成長し大人の存在という仕付け糸を外しても崩れず、子ども自身が自立(自律)できるようにするためのものです。決して大人の都合を聞かせることではありません。だからこそ我々大人が、“目には見えない”子ども自身が感じていることや抱いている思いに目を向け、自分自身の力で立てるようになるまで、“寄り添っていくこと”が躰には必要です。

さて、かの親子はどうなったでしょうか?お母さんは赤ちゃんを抱いているのと反対の手で姉を抱き上げ、無事に園舎に入っていました。そして驚いたことに翌日から彼女は送迎時に抱っこしてほしいと言わなくなりました。“目に見えない”自分自身の思いを受け止められたことが、自分を律するという“目に見える”成長へと一つ歩みを進めたのでしょう。

とは言え大きくなても抱っこをせがむ子は多いもの。大事なのはそれまで自分でできることは自分でさせてきて、今回だけは受け止めようとしたその感覚であり、その状況の見極めでしょう。

「どうやって我が子をしつけたらいいか?」寛大な母親の腕に抱かれて登園した、あのときの子どもの嬉しそうな表情こそが、その問い合わせではないかと思うのです。

園長 小藪 達也

行事予定

| | |
|--------|--------------------------------|
| 4日(火) | 交通安全指導 |
| 7日(金) | 尿検査(3・4・5歳児) |
| 12日(水) | ほくほくパーティー |
| 13日(木) | 茶道教室(5歳児) |
| 14日(金) | 尿検査予備日(3・4・5歳児) 交通安全指導・発育測定 |
| 19日(水) | 英語で遊ぼう(4・5歳児) |
| 20日(木) | 保育料引落日 |

お知らせ

- ・10/7~10 のわくわくスポーツデーにはお忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございました。
- ・年末の通常保育は12月25日(木)までです。来年の保育始まりは1月8日(木)となります。

